

(一社) SDGs市民社会ネットワーク

「持続可能な開発目標」(SDGs)に関する市民社会の活動の強化とマルチ・ステークホルダー・プロセスの定着を目指した活動

活動地域  日本全域



課題

新型コロナウイルス感染症により脆弱な立場にある人ほど深刻なダメージを受けている。しかし、政策の意思決定に当事者の声を反映させるシステムが定着していない。

目標

SDGs達成に向けてマルチ・ステークホルダー・プロセスが定着し、プロセスの質を向上させるシステムが確立されている。



今後の展望

多様な市民社会組織の声を政策決定に反映させるためには、そのプロセスでの多様性の確保が重要である。政策提言のアプローチに多様性をもたせ、だれ一人取り残さない社会の実現に向けオルタナティブを提案していく。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

新型コロナウイルス感染症により社会の課題が顕在化し、SDGsの達成状況は悪化している。SDGs市民社会ネットワークは2020年度に5回の新型コロナウイルス声明を発表し、「SDGsを軸にした新型コロナウイルス対策」の重要性と市民社会活動の役割と実践について発信をしてきた。ウェブサイトには合計8,000を超えるアクセスがあった。また、6回の政党/議員勉強会を開催し、立法院でのSDGsに関する議論の活発化を進めた。その他、市民社会の実践を広げる場として、地域SDGs指標の策定に向けた連携プロジェクトを実施した。



各政党との意見交換会 6回

主催イベントの開催 10回

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 30%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

様々な分野で活動する多様な市民社会組織がネットワークの母体であり、組織のビジョンを具体化するプロセスが重要であった。

■工夫した点

オンラインでの会合を活用し、国際的な活動への参加や国内の地域連携事業の実施など、距離的制約の克服に努めた。

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-7-10
山京ビル本館604号
電話：03-5357-1773
E-mail：office@sdgs-japan.net
HP：https://www.sdgs-japan.net/

